	令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)										
										事務事業コード	132-03-01
#	3公中3	坐 <i>力</i>	\(\alpha\) +1	比な乳谷型パフ	<b>海仁東</b>		事	務の種	類	自治事務	烙(任意のもの)
手	務事	表石	ムナ	<b>  施設循環バス</b>	<b>連打事</b> 来		連絡先			内	線1911
‡	担当部署	<b>署名</b>	管財	用地課			予	会計	1	一般会計	
総合	施策	目標	1	快適でうるおいの	)ある 住みよいまち		算	款	2	総務費	
基本	施	策	3	道路·交通			科目	項	1	総務管理費	
計画	施策0	D方向	2	公共交通網と交通	通ターミナル機能の強化		П	目	6	財産管理費	
	対 (誰を・		市民								
事業の	目 (どうし)	的 たいか)	市民生活の利便の向上と福祉の充実を図るため、市役所を起点に市内公共施設及び 料で利用していただくサービスを提供する。						及び、各地区にある作	亭留所を循環し、市民に無	
概要	手(事業		平日》	及び土曜日に市内86	28便運行する。						
予	算・決	算額						(単位	::千P	∃) ≪主な内訳(←	令和4年度決算)≫
			4	令和3年度	令和4年度		令	和5年度	H.V.	【事業費】	
当初	予算額	事業費		6,903	11,095			6,	115	需用費	4,620千円
油	算額	事業費		5,654	10,436			_		公課費	1,505千円 148千円
1/	开识	特定 財源等		0	0			_		合計 1	4,163千円 0,436千円
活動指標		標	(事務事	業の目的を達成する	ために、何をどれだけ行ったフ	か)				【特定財源】	
										1 1	

D VAN UK								
活動指標	(事務事業の目的を達成する	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)						
指標名	便数		単位	便				
指標の説明	1日当たりの便数							
	令和3年度	令和5年度						
目標(見込)	28 28		25					
実績	28	_						
		_						

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)						
/942/610100							
指標名	利用者数		単位	人			
指標の説明	年間延べ総利用者数						
	令和3年度	令和4年度	令	和5年度			
目標(見込)	100,000	100,000					
実績	77,719	_					

【事業費】 需用費 役の課費 公バス計 合特定財源】	4,620千円 1,505千円 148千円 4,163千円 10,436千円	

≪事業の参考数値等≫

個別評価			
	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
妥当性	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	A
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
有効性	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	A
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
効率性	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

現状維持 総合評価

(担当部局による総合評価の理由や課題)

循環バスは、多くの市民に利用されているバスであり、今後も安全に利用してもらう必要がある。

今後の改善内容

(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 公共施設・総合施設への利便性の充実。

							事務事業コード	734-02-02		
市水市业力		財産区財産管理事務事業		事務の種類			自治事務(義務的なもの)			
事務事業名				連絡先			内線2253			
1	担当部署名	管財	用地課	₹.	会計	1	一般会計			
総合	施策目標	7	市民とともに築く 自立したまち	予算	款	2	総務費			
合基本計画	施策	3	行財政運営	科目	項	1	総務管理費			
計画	施策の方向	4	公共施設等の適正な管理運営		目	6	財産管理費			
	対象 <sup>(誰を・何を)</sup>	市内の	市内の各財産区							
事業の	目的 (どうしたいか)	適正	適正な管理							
概要	手段(事業内容)	財産[	区特別会計(処分金払出し等)の執行。財産区財産処分							

## 予算·決算額

## (単位:千円)

## 《主な内訳(令和4年度決算)》

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	0	0	0
決算額	事業費	0	0	_
伏异似	特定 財源等	0	0	_

活動指標	事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)					
指標名	財産区財産払出し要請件数単位件			件		
指標の説明	財産財産処分金より地元	財産区(町会・水利組合等)の	事業費に充	5当。		
	令和3年度	令和4年度	令	和5年度		
目標(見込)	60	52	50			
実績	56 44			_		

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)					
指標名	財産区財産払出し金額 単位 千円			千円		
指標の説明	財産区特別会計から払出	しされた事業費				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
目標(見込)	票(見込) 51,903 48,975		43,730			
実績	52,290	35,170	_			

西浦財産区	7,227千円
南島泉財産区	5,368千円
北宮財産区	4,827千円
郡戸財産区	3,607千円
※財産区特別会	計からの支出

#### 《事業の参考数値等》

払出し要請件数69件平成30年度69件令和元年度72件令和2年度48件

個別評価			
	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	
妥当性	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	Α
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
有効性	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	A
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
効率性	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

## 現状維持

## (担当部局による総合評価の理由や課題)

財産区財産管理事務について、今後も執行機関である市が地元財産区 (町会・水利組合等)と調整を図りながら、適正に管理をしなければならない。ただ、池を管理する財産区住民の高齢化、減少により、ため池等の日常 管理が困難な地域が年々増加している。

#### 今後の改善内容

## (令和5年度以後の事業実施への改善内容)

財産区財産が年々減少している財産区もあるため、支出する際は計 画的かつ支出用途を十分精査してもらうように努める。

							事務事業コード	734-02-03	
古水市兴力		公有財産管理事務事業		事務の種類		類	自治事務(任意のもの)		
事務事業名				連絡先			内線2253		
ŧ	担当部署名	管財	用地課	₹.	会計	1	一般会計		
総合	施策目標	7	市民とともに築く 自立したまち	予算	款	2	総務費		
合基本計画	施策	3	行財政運営	科目	項	1	総務管理費		
計画	施策の方向	4	公共施設等の適正な管理運営	П	目	6	財産管理費		
	対象 <sub>(誰を・何を)</sub>	公有財産(土地·建物)							
事業の	目的 (どうしたいか)	公有財産(土地・建物)の維持・保存のための適正管理及び貸付等の有効活用							
概要	手段(事業内容)		材産(土地・建物)の取得・処分・維持管理等の統括事務 員害賠償保険の加入や請求に関する事務。	ノステムの管理。また、	市有建物等の損害共済				

予算·決算額

(単位:千円) «

《主な内訳(令和4年度決算)》

4 / 1 / 1/4				, , ,
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	5,619	5,698	6,554
決算額	事業費	5,556	6,034	_
伏异領	特定 財源等	0	0	_

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)							
指標名	公有財産保有面積 単位 ㎡							
指標の説明	羽曳野市が所有・管理財	羽曳野市が所有・管理財産(土地)の面積						
	令和3年度	令和4年度	令	和5年度				
目標(見込)	1,056,347 1,084,678 1,017,773							
実績	1,084,678 1,017,773 -							
一十日七冊 (東攻東米を中体)をフレストリーロ的がピの和中をよるれる人)								

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)								
指標名	公有財産運用収入		単位	千円					
指標の説明	貸付等にかかる収入額	貸付等にかかる収入額							
	令和3年度 令和4年度 令和5年月								
目標(見込)	4,020	4,020 3,880 3,879							
実績	3,880 3,879 -								

建物総合損害共済分担金 3,587千円 全国市長会市民総合賠償補償保険料 1,911千円 土地改良施設賠償責任保険料 200千円

《事業の参考数値等》

公有財産運用収入 平成30年度 4,224千円 令和元年度 4,020千円 令和2年度 4,020千円

個別評価			
	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	
妥当性	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	Α
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
有効性	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	A
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
効率性	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

## 現状維持

## (担当部局による総合評価の理由や課題)

公有財産の適正な管理は大変煩雑であるが、地方自治法で定められた事務であり、公有財産管理システムおよび固定資産台帳による管理を行っている。また、普通財産等の貸付も適正に行っている。

#### 今後の改善内容

## (令和5年度以後の事業実施への改善内容)

引き続き、公有財産の管理および普通財産等の貸付を適正に行う。

## 今和5年度羽由野市東黎東紫郭価シート(今和/年度宝施東紫)

	É	う和り	牛度羽曳野	'巾事務事業評価ン	<b>一</b> ト	(分本	∐ <b>4</b> ⁴	中皮美施事	美 <i>)</i>		
								事務事業コード	734-02-04		
≢	孫事業名	士士	<b></b>   地売却事務事	· <del>///</del>	事	孫の種	類	自治事務(任意のもの)			
<b>∓</b>	物争未石	1114	月地尔科 争伤争	·未		連絡先		内流	線2253		
ŧ	担当部署名	管財	用地課		₹.	会計	1	一般会計			
総合基本	施策目標	7	市民とともに築く	自立したまち	予算	款	2	総務費			
基本	施策	3	行財政運営		科目	項	1	総務管理費			
計画	施策の方向	4	公共施設等の適	正な管理運営		目	6	財産管理費			
	対象 <sup>(誰を・何を)</sup>	市が	市が所有する利用予定のない土地								
事業の	目的 (どうしたいか)	財政の	財政の健全化を図るために不用な土地を処分								
概要	手段(事業内容)	市が所有する利用予定のない土地を調査・整理し、原則一般競争入札により売却する。									
予	·算·決算額					(単位	:千F	円) 《主な内訳(名	令和4年度決算)≫		
_			令和3年度	令和4年度	令	和5年度	Ė	【事業費】 不動産鑑定手	数料 858千円		
当初	予算額 事業費		3,146	3,146		3,1	146		×1-1 000 [1]		
	古光曲		1.000	0.50							

丁异*伏	异识			(単位・十门)
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	3,146	3,146	3,146
決算額	事業費	1,020	858	_
(人) 异识	特定 財源等	0	0	_

活動指標 (事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか) 指標名 売却予定件数 単位 件 指標の説明 売却の入札告示をする件数 令和3年度 令和4年度 令和5年度 目標(見込) 4 2 2 2 5 実績

成果指標	事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)									
指標名	売却件数		単位	件						
指標の説明	落札された件数									
	令和3年度	令和4年度	令	和5年度						
目標(見込)	2	2		2						
実績	4	2		_						

《事業の参考数値等》

売却件数 平成30年度 1件 令和元年度 令和2年度 0件 1件

個別評価			
	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
妥当性	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	Α
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
有効性	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	Α
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
効率性	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

#### 現状維持 総合評価

(担当部局による総合評価の理由や課題)

利用予定のない市有地は、原則一般競争入札で売却しようとしているが、 売却価格が市場価格と乖離があるため、需要が少ない。

#### 今後の改善内容

(令和5年度以後の事業実施への改善内容)

引き続き、利用予定のない市有地があれば売却をすすめていく。

					11 于初于米叶仙		`		事務事業コード	734-02-05	
						ョ	一致の揺	米百			
事務事業名 担当部署名		業名	法定	外公共物管理	事務事業	<del>-</del>	務の種		自治事務(義務的なもの) 内線3790		
		管財用地課			連絡先				5790		
					ala da la la la la la la		会計	1	一般会計		
総合基		目標	7	市民とともに築く	目立したまち	算 科	款	2	総務費		
k   		i策 	3	行財政運営	A September 2007 NA		項	1	総務管理費		
計画施策の方向 対象			4	公共施設等の適う	正な管埋運営		目	6	財産管理費		
	対(誰を・		法定外	ト公共物(里道・水路	.)						
事業の	目 (どうし)	<b>的</b> たいか)	法定外	<b>外公共物の適正な管</b>	理等						
既要	手(事業)	段 内容)		朴公共物境界明示業 勿要望対応業務 要	務 法定外公共物使用許 長綱・開発に伴う協議業務 等		承認業務	务 注	定外公共物廃止・交換	処分業務 法定约	
곡	算・決算	<b>首</b> 婚					(単位	:: <b>千</b> 日	円) ≪主な内訳(令和	4年度決質) >>	
	<del>71 (\)</del>	开识		令和3年度	 令和4年度		和5年度		【事業費】		
4.≵T	予算額	車業费		3,213	3,768			770	樹木等処分手数	料 2,605千円	
1 1),	了开钥			4,103	3,179			10	$\dashv$ $\mid$		
決	算額	事業費		-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				$\dashv$		
		財源等		0	0				_		
	活動指	標	(事務事	業の目的を達成する	ために、何をどれだけ行った	か)			<u></u>		
	指標名	<u>.</u>	法定外	<b>小公共物財産管理総</b>	延長	単位	k	m			
	指標の診	说明	羽曳野	野市内に有る法定外	公共物の総距離						
_			令和3年度 令和4年度			令	和5年度	į Ž			
	目標(見	込)	185     185       185     185       (事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成され					185	── 《事業の参考数	直等≫	
	実績						_			E 4 "	
	成果指	煙				1.たか)			_		
					TO THE STATE OF TH				$\neg$ $\bot$		
	指標名	<b>当</b>	境界明	月示交付件数		単位	1	牛			
1	指標の診	说明	官民均	<b>竟界明示申請により</b> な	竟界確定した交付数						
_			4	令和3年度	令和4年度	令	和5年度	Ē			
	目標(見	込)		65	57			55	<b>-</b>		
	実績			56	55				<b>-   </b>		
			<u> </u>	3.0							
	個別評	·1Щ	<b>1</b> ≠ 1	光た士が行きるたで、	1/ A	4-284-1	歩子 ベン	全マケム	すませんよう	I	
	立 立 山	<b>H</b> -		業を市が行うのは妥当 ・				我務比	事業である。		
	妥当性	土		節囲や水準、手段は⅓ ・ ・ ・廃止・休止した場合	<u> </u>	妥当で 影響は				A	
					るか。成果向上の余地はあるか。			見がト	がっている。		
	有効的	生		料する成果はエルラでで 事業との統廃合はでき				-	似事業はない。	$\overline{}$ A	
	有効性				ラング。 策に貢献しているか。		は献してい		NINT VIO.01 0	^A	
							余地はな	_			
			事業費削減の余地はあるか。				-				
	効率性	<del></del> 生		貴削減の余地はある:	か。	削減のタ	余地はな	い。		A	
		生	人件對				余地はな 受益者負		58.	A	
			人件對	費削減の余地はある	か。		受益者負	担であ	<b>ე</b> გ.	A	

							事務事業コード	734-02-06		
ⅎ	東攻東光久			事務の種類 連絡先			自治事務(任意のもの)			
事務事業名		庁舎等管理事務事業					内線3720			
4	担当部署名  管財用地課			~	会計	1	一般会計			
総合	施策目標	7	市民とともに築く 自立したまち	予算	款	2	総務費			
合基本計画	施策	3	行財政運営	科目	項	1	総務管理費			
計画	施策の方向	4	公共施設等の適正な管理運営	П	目	6	財産管理費			
	対象 <sup>(誰を・何を)</sup>	市民	市民や職員が利用する庁舎							
事業の	目的 (どうしたいか)	庁舎の	庁舎の適正な維持管理を行い、市民や職員が安全で快適に利用できる状態に保つ。							
概要	手段 (事業内容)		等が発生しないよう警備・清掃等の庁舎管理及び設備様 スト削減を目指す。	幾器等	の保守管	理を復	テう。また、効率的な過	<b>軍営のため節電に取り組</b>		

予算·決算額

(単位:千円)

《主な内訳(令和4年度決算)》

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	176,091	170,859	190,663
決算額	事業費	172,616	180,056	_
伏异似	特定 財源等	5,845	7,024	_

活動指標 (事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか) 指標名 維持管理のための業務委託件数 単位 件 庁舎管理業務、電話交換業務、エレベーター保守点検業務、自動扉保守点検業務、 指標の説明 来客駐車場管理業務 等 令和3年度 令和4年度 令和5年度 目標(見込) 19 19 19 21 20 宝績

风未相惊	(事効事業を大旭のにことにより、日中リがこりが住及足域ですがこれが					
指標名	庁舎施設の安全管理率	単位	%			
指標の説明	無事故日数÷年間管理日	無事故日数÷年間管理日数×100				
	会和3年度 会和4年度 会和5年度					

入小兴		20			
成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)				
指標名	庁舎施設の安全管理率	単位	%		
指標の説明	無事故日数÷年間管理日数×100				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標(見込)	100	100	100		
実績	100	100		_	

- ・庁舎等施設、設備機器等の保守及び 管理委託料 76,270千円
- ·光熱水費 70,538千円

## 【特定財源】

・行政財産使用に伴う光熱水費 (水道事業会計分) 7,024千円

#### 《事業の参考数値等》

平成23年度より「羽曳野市庁舎等節電 実行方針」を策定。

#### 【電気使用量】

[夏期]平成22年度 591,410kWh 令和4年度 501,420kWh ※対平成22年度比 15.22%削減 [冬期]平成22年度 599,550kWh 令和4年度 472,916kWh ※対平成22年度比 21.12%削減

個別評価				
	本事業を市が行うのは妥当か。 市が実施すべき義務的事業である。			
妥当性	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	В	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	В	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
効率性	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

#### 現状維持 総合評価

(担当部局による総合評価の理由や課題)

庁舎施設の保守及び維持管理は必要不可欠な業務であり、経年劣化する 施設に対し、計画的に維持管理、修繕及び改修を行う必要がある。

#### 今後の改善内容

(令和5年度以後の事業実施への改善内容)

引き続き、庁舎の維持管理を継続して実施する。

					事務事業コード	734-02-07		
#	事務事業名 公用車管理事務事業 -		事務の種類		類	自治事務(任意のもの)		
<b>=</b>	物爭未石	· 宋石   公川平日垤事物事未		連絡先			内線1911	
1	担当部署名	管財用地課		7	会計	1	一般会計	
総合	施策目標	7	市民とともに築く 自立したまち	予算	款	2	総務費	
合基本	施策	3	行財政運営	科目	項	1	総務管理費	
計画	施策の方向	4	公共施設等の適正な管理運営		目	6	財産管理費	
	対象 <sup>(誰を・何を)</sup>	公用車·公用单車·公用自転車						
事業の	目的 (どうしたいか)	市内を走る公用車は老朽化が進んでいる車両も多い為、市民及び職員の安全を第一に適正に修理及び更新を行う。また、使用の無駄をなくすことで事故の発生を減らし、燃料の削減に努める。						
概要	手段 (事業内容)	管理·更新·検査·点検·修理·配車·給油						

予算・決算額

(単位:千円) 《主な内訳(令和4年度決算)》

	4 2				, , ,
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	当初予算額	事業費	33,015	52,173	43,098
	決算額	事業費	29,978	36,799	_
		特定 財源等	2,054	2,804	_

活動指標 (事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか) 指標名 公用車保有台数 単位 台 指標の説明 自動車126台 · バイク27台 (自転車28台) 令和3年度 令和4年度 令和5年度 目標(見込) 180 180 181 180 181 実績

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)			
指標名	燃料削減量(対前年度使用量)		単位	l
指標の説明	ガソリン(R3年度使用量(52,429ℓ)-当年度(52,514ℓ)) 軽 油(R3年度使用量(28,692ℓ)-当年度(29,142ℓ))			
	令和3年度	令和4年度 令和5年度		和5年度

1日/宗石	然行的概里(对时十)交次用里/			Ł
指標の説明	ガソリン(R3年度使用量(52,429ℓ)-当年度(52,514ℓ)) 軽 油(R3年度使用量(28,692ℓ)-当年度(29,142ℓ))			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標(見込)	10,000	500		0
実績	328	-535		_

[事業費] 需用費 11,725千円 役務費 10,097千円 公課費 1,567千円 使用料及び賃借料 562千円 他知会 1224千円 度用格及の負債格 302 円 負担金 123 千円 備品購入費 12,725 千円 小計 36,799 千円 (うち循環バス事業費)10,434 千円 小計 2,804千円

《事業の参考数値等》

【R4年度末 管理台数の内訳】 マイクロバス ライトバン・乗用車 18台 ダンプ・貨物 9台 特殊·特種車 16台 軽自動車 56台 消防車 18台 単車 27台 白転車 28台

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。		
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	Α	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	<b>A</b>	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
効率性	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	Α	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

現状維持 総合評価

(担当部局による総合評価の理由や課題)

公用車の管理は、必要不可欠な業務であり、特に老朽化の進んだ車両の 修理点検は、安全性を確保するため必要である。

今後の改善内容

(令和5年度以後の事業実施への改善内容)